

2012年度 人権学習指導資料 連続講座 指導略案

名前	学校名・学年	〇〇高校 1年
使用するワークシート	外国人の人権 P58 「違いをきっかけに…」	

(1) 目標

知識的側面	<ul style="list-style-type: none"> ・文化が違うことは慣習が違うことにつながっていることを理解する。 ・自己表現の種類によって相手の受け取り方が変わることを理解する。
価値的・態度的側面	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の文化的背景を理解する態度を持つ。 ・自分の言いたいことを丁寧に伝え、相手をも気づかう表現を使うことで相手を尊重する態度を育てる。 ・アサーティブな自己表現のよさに気づき使おうとする。
技能的側面	<ul style="list-style-type: none"> ・対立を生み出さないアサーティブな自己表現の技能を育てる。

(2) 計画

学習活動	指導上の留意点・教師の支援
<p>1. 導入 (5分)</p> <p>■ 「〇〇のときに人に送る花といえば、どんなものを思い浮かべるか」を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日、正月、クリスマス、進学、コンサート、お葬式、等。 ・慣習による、「ふさわしさ」をそれぞれが持っていることを確認する。どんな花が出てきても否定したり、それがステレオタイプであることを指摘したりしない。
<p>2. 展開 (40分)</p> <p>■ 本文を読み、理解する。</p> <p>■ Bさんはなぜ、黙ってしまったのだろう？</p> <p>■ あなたなら、Aさんにどう伝える？</p> <p>■ 実際にロールプレイしてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では、お墓等に供える花として使用することが多く、プレゼント用として使うことはあまりないことをおさえる。 ・「相手を気遣いながら「うまく伝える」言い方を考える。 ・いろんな言い方をそれぞれが考え、それらを集約し、「どんな方向性の言い方なのか」を整理する。①感謝を伝える ②日本の習慣を伝える ③新たな気づきができる ④相手の文化への関心を示すなどが考えられる。 ・自分が考えた「相手を傷つけない、『うまい伝え方』」を実際にやってみる。 ・隣同士のペアで実際に行い、いくつかのペアが全体発表をする。 ・表現・言葉づかいでよかったところや表情・しぐさでよかったところに注目させる。
<p>3. まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりのアサーティブな自己表現を考え、実生活の中で使っていてほしい。 ・進行・時間によっては、p60を参照し、違う場面設定でも考えあう。「こんな言い方されて嫌だった」と経験も出し合う。